

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ビジネスマナーⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナーⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	①サービス接遇検定 3 級公式テキスト ②サービス接遇検定 3 級実問題集 第 58 回～64 回 ③秘書検定 3 級パーフェクトマスター ④秘書検定 3 級実問題集 2026 年度版 ⑤医療秘書技能検定実問題集 3 級① 2026			出版社	①～④早稲田教育出版 ⑤つちや書店
科目の基礎情報②					
授業のねらい	サービス接遇、秘書業務の学習を通じてビジネスマナー全般の知識を習得する。 医療事務員として働くにあたり必要となる接遇・マナーを身につける。				
到達目標	相手が感じがよいと思う言葉遣いや相手に満足と感じてもらえる行動ができる。 社会に出て働く人に求められる基本的な仕事の仕方・態度振る舞いができる。 愛想と愛嬌を理解し医療事務員として必要なマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。				
評価基準	期末テスト：40％、小テスト：30％、授業態度（提出物含む）：30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	サービス接遇実務検定、秘書技能検定、ビジネス文書技能検定、医療秘書技能検定				
関連科目	ビジネスマナーⅠ、医事業務実践ベーシック A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石田 千妃路	実務経験		○	
実務内容	病院（900 床以上）福祉系部署にて秘書的業務兼一般事務業務。クリニックにて医療事務業務として勤務。（計 3 年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 必要とされる資質	前期の振り返りと授業の流れ・到達目標について 秘書の心構え 秘書に求められる能力と守秘義務
2	職務知識	秘書の機能と役割 秘書の職務
3	一般知識①	企業の基礎知識 企業組織の活動

4	一般知識②	社会常識
5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定に向けた対策①
6	技能①	会議についての秘書の役割
7	技能②	ビジネス文書の作成
8	技能③	電子メールの書き方 文書の取り扱い
9	技能④	文書・資料管理 環境整備
10	まとめ①	秘書技能検定の記述問題対策
11	まとめ②	理論・実技総まとめ
12	検定対策②	秘書技能検定に向けた対策①
13	検定対策③	秘書技能検定に向けた対策②
14	検定対策④ 期末テスト	秘書技能検定に向けた対策③ 期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ペン字Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	・あなたも書き文字美人に「きれいな文字の書き方」 ・しっかり身につく！硬質書写技能検定 3 級のドリル 書き込み式練習帳		出版社	・二玄社 ・（一財）日本書写技能検定協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	社会人にふさわしいと文字の習得/情操の陶冶 学んだ知識と技術を実践で活かす力を育む				
到達目標	・ビジネス文書等を受け手に配慮し、正しく書くことができる ・検定を基準とした文字に関する「実技」「理論」の知識を学び活かすことができる				
評価基準	テスト（小テスト）50％ ・提出物、課題等 30％ ・授業態度、積極性 20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	・文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3 級・準 2 級・ 2 級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	阿部 浪子		実務経験	○	
実務内容	ペン字⇒ペン習字・毛筆習字の指導。 筆記試験対策⇒国語の教員免許（小・中・高）を保有、個別指導塾で国・数・英の指導に従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	ペン字の授業の意義/授業/評価方法/検定について
2	★第 1 問「速書き」☆ボールペン使用 ひらがな<pp.5-30>	★第 1 問「速書き」<ドリル pp.6-7> ひらがなの特徴/字源/自分の癖を確認しブラッシュアップする
3	カタカナ・数字・アルファベット <pp.32-33> ★第 4 問「横書き」	カタカナ・算用数字・アルファベットの特徴/読みやすく書く ★第 4 問「横書き」<ドリル pp.24-37>

4	筆 順<pp.40-45> ★第 8 問「筆順」	筆順の原則とその例/筆順と美しい文字の関係 ★第 8 問「筆順」 <ﾄﾞﾘﾙ pp.24-27>
5	漢字の基本① 単体文字 <pp.46-47 50-61>	楷書 単体文字のポイント説明・練習
6	漢字の基本② 複合文字 <pp.62-67>	楷書 複合文字のポイント説明・練習
7	漢字の基本③ 全体の整え方 <pp.68-71>	楷書 全体の整え方 ★第 4 問復習 横書き文章の書き方/文字の大きさ/中心の取り方
8	主な部首の名称<pp.72-73> ★第 7 問「部分の名称」	主な部首の名称の理解 ★第 7 問「部分の名称」<ﾄﾞﾘﾙ pp.40-43>
9	行 書<pp.74-79> ★第 2 問「熟語（楷書・行書）」	行書の理解／楷書と行書の違い ★第 2 問「熟語」<ﾄﾞﾘﾙ pp.12-15>
10	漢字かな交じり文 ★第 3 問「縦書き文（行書）」	縦書き文（漢字と平仮名の調和） / 行書に調和するひらがな<P34-35> ★第 3 問「縦書き文（行書）」<ﾄﾞﾘﾙ pp.16-23>
11	正しい字体とは ★第 9、10 問「草書/字体の判断」	簡単な草書を読む★第 9 問「草書」<pp.ﾄﾞﾘﾙ 50-55> 漢字のまちがい探し★第 10 問「字体の判断」<ﾄﾞﾘﾙ pp.56-60>
12	大きいサイズの文字① ★第 6 問「掲示文」下書き ☆マーカー、定規使用	掲示文解説／レイアウト(下書き) ★第 6 問「掲示文」<ﾄﾞﾘﾙ pp.36-38>
13	大きいサイズの文字② ★第 6 問「掲示文」清書 ☆マーカー、定規使用	学びを活かし書く／正しい字形の確認（清書） ★<ﾄﾞﾘﾙ pp.36-38>
14	大きいサイズの文字③ ★第 6 問「掲示文」発展 ☆マーカー、定規使用	様々な掲示文や大きい封筒への記入 ★<ﾄﾞﾘﾙ pp.36-38>
15	まとめ	前期のふりかえり

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ペン字Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ペン字Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	・あなたも書き文字美人に「きれいな文字の書き方」 ・文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3 級のドリル			出版社	・二玄社 ・(一財) 日本書写技能検定協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人にふさわしいと文字の習得/情操の陶冶 学んだ知識と技術を実践で活かす力を育む				
到達目標	・ビジネス文書等を受け手に配慮し、正しく書くことができる ・検定を基準とした文字に関する「実技」「理論」の知識を学び活かすことができる				
評価基準	テスト（小テスト）5 0 % ・提出物、課題等 3 0 % ・授業態度、積極性 2 0 %				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	・文部科学省後援 硬筆書写技能検定 3 級・準 2 級・2 級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	阿部 浪子			実務経験	○
実務内容	ペン字⇒ペン習字・毛筆習字の指導。 筆記試験対策⇒国語の教員免許（小・中・高）を保有、個別指導塾で国・数・英の指導に従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	都道府県名・都市名 <pp.104-111>	都道府県名・都市名を練習と住所表記の注意点
2	氏名の書き方 <pp.112-115>	氏名の練習/旧字体、書写体について
3	葉書 [表書き] <pp.118-125> ★第 5 問「葉書」①	3 級葉書（表書き）の書き方説明/レイアウトの確認・練習 ★第 5 問「葉書」<ドリル pp.28-35>
4	★第 5 問「葉書」②	3 級の葉書（表書き）練習 ★第 5 問「葉書」<ドリル pp.28-35>

5	葉書 [裏書き] <pp.118-125>	2級、準2級葉書（裏書き）について ※季節や旅の挨拶状<pp.122-123>
6	俳句・四字熟語・連綿 <pp.82-113・116-117>	俳句、四字熟語、連綿等
7	【実用書】 履歴書① <pp.134-137>	[実習、就職に関わる書類] ①履歴書に必要な記入項目とバランスを学ぶ
8	【実用書】 履歴書②	[実習、就職に関わる書類] ②見ていただく書類として適切か/受け手に与える影響を考える
9	【実用書】 履歴書③	[実習、就職に関わる書類] ③清書のコツ（ペン書き）
10	【実用書】 手紙文/御礼状 <pp.126-133>	[実習、就職に関わる書類] ④お礼状のマナー
11	【実用書】 手紙文/御礼状/便箋	[実習や就職にかかわる書類] ⑤手紙文の理解/お礼状/便箋
12	【実用書】 手紙文/御礼状/封筒	[実習や就職に関わる書類] ⑥手紙文の理解/お礼状/縦長封筒 (※『医療業界』御机下・御侍史について)
13	書き初め	「今年の一文字」(決意)
14	慶弔用語 <pp.138-141>	のし袋/芳名帳
15	ふりかえり	全体のふりかえり

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	30 時間でマスター Office パソコン技能検定 対策問題集 3 級 パソコン技能検定 模擬問題集 3 級 パソコン技能検定 対策問題集 2 級			出版社	実教出版 三幸学園 三幸学園 三幸学園
科目の基礎情報②					
授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。 また、Word・Excel の操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定 3 級で求められる文字数（350 字/10 分）を入力できる。 ビジネス文書の入力がスムーズにできる。				
評価基準	テスト 60%、課題提出/平常点 40%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎 絵里子 他 2 名			実務経験	○
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入・概要・タッチタイピング	授業のねらい・年間の授業予定等説明・検定について・タッチタイピングの方法と必要性について Windows の基本操作・タッチタイピング（ホームポジション）の練習
2	タッチタイピング Word の基礎・基本入力	タッチタイピング（上段/下段）の練習・入力問題実施 変換、文節区切りの変更、再変換、ファンクションキー、記号と特殊文字、手書き入力（IME パッド）について
3	入力練習 ビジネス文書の基本	入力スピード練習（10 分）、フォント、フォントサイズ、文字修飾、コピー、貼り付け、切り取りについて ビジネス文書の基本型と入力の仕方を学ぶ

4	表作成	入カスピード練習 (10 分) 表作成の説明について
5	文書作成①	入カスピード練習 (10 分) 文書作成問題練習
6	文書作成②	入カスピード練習 (10 分) 文書作成問題練習
7	文書作成③	入カスピード練習 (10 分) 文書作成問題練習
8	パソコンの知識①	入カスピード練習 (10 分) 学科問題に必要なパソコン知識の説明
9	パソコンの知識②	入カスピード練習 (10 分) コンピュータ関連知識の説明
10	テスト (Word)	入力問題・文書作成問題の実施
11	Excel の概要・データ入力	入カスピード練習 (10 分) Excel の初期画面、基本データ入力、オートフィル機能、罫線、四則計算について
12	Excel 基本復習、基本的な関数	入カスピード練習 (10 分) Excel 基本復習・SUM、AVERAGE、MAX、MIN、絶対参照について
13	グラフ	入カスピード練習 (10 分) グラフの作成・グラフ要素について
14	表計算練習①	入カスピード練習 (10 分) 表作成問題練習
15	表計算練習②	入カスピード練習 (10 分) 表作成問題練習

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	30 時間でマスター Office		出版社	実教出版	
	パソコン技能検定 対策問題集 3 級			三幸学園	
	パソコン技能検定 模擬問題集 3 級			三幸学園	
	パソコン技能検定 対策問題集 2 級			三幸学園	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	タッチタイピングを習得し、早く正確な入力を身につける。				
	また、Word・Excel の操作などを習得し、実際の業務に役立つスキルを身につける。				
到達目標	パソコン技能検定 3 級レベルの Word、Excel 操作ができる。 パソコン技能検定 2 級レベルの操作を行うことができる。 PowerPoint の基本的な操作ができる。				
評価基準	テスト 60％、課題提出/平常点 40％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎 絵里子 他 2 名		実務経験	○	
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	検定に向けて・前期復習	検定試験の実施手順・数式印刷の説明 入力問題、文書作成問題、表計算問題
2	パソコン検定 3 級対策①	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
3	パソコン検定 3 級対策②	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
4	パソコン検定 3 級対策③	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題

5	パソコン検定 3 級対策④	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
6	パソコン検定 3 級対策⑤	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
7	パソコン検定 3 級対策⑥	計測して練習 学科問題、入力問題、文書作成問題、表計算問題
8	Word のいろいろな機能①	入力スピード練習 (10 分) 図形・ワードアート・画像について
9	Word のいろいろな機能②	入力スピード練習 (10 分) 段組み、ドロップキャップ、割注について
10	Excel のいろいろな関数①	入力スピード練習 (10 分) COUNT、RANK.EQ、ROUND、IF について
11	Excel のいろいろな機能②	入力スピード練習 (10 分) 条件付き書式、複合グラフについて
12	テスト (Excel)	入力スピード練習 (10 分) Excel の確認テスト・表計算問題練習
13	PowerPoint の操作①	PowerPoint についての基本操作について
14	PowerPoint の操作②	画面切り替え、アニメーション、ハイパーリンクについて
15	PowerPoint 作成	PowerPoint 作成練習

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション実践Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する。 傾聴力・思考力・表現力を身につける。				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる。 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる。				
評価基準	発表：60％ 小テスト: 20％ 提出物：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アビリティ UPⅠ・アビリティ UpⅡ・ビジネスマナーⅠ・ビジネスマナーⅡ・就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石田 千妃路		実務経験	○	
実務内容	病院（900 床以上）福祉系部署にて秘書的業務兼一般事務業務。クリニックにて医療事務業務として勤務。（計 3 年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション プレゼンテーションとは	授業の概要について 傾聴（アクティブラーニング）について
2	話す時の心構えと基本	思考力と表現力について
3	表情（表現力）	第一印象(メラビアンの法則)と表情について 即題スピーチについて
4	思考力①	思考力について ストーリー構成の型について
5	思考力②、表現力	PREP 法について show&tell について

6	自己分析	自己分析について
7	ディスカッション	グループディスカッションについて
8	業界・職種・仕事内容 研究①	業界・職種・仕事内容の研究について①
9	業界・職種・仕事内容 研究②	業界・職種・仕事内容の研究について②
10	業界・職種・仕事内容 研究③	業界・職種・仕事内容の研究について③
11	業界・職種・仕事内容 研究④	業界・職種・仕事内容の研究について④
12	業界・職種・仕事内容 研究⑤	業界・職種・仕事内容の研究について⑤
13	まとめ	思考力・表現力評価 他者評価について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り・総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	プレゼンテーション実践Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼンテーション実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	プリント		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職活動に向けて、自己開示・自己分析の方法を理解する。 傾聴力・思考力・表現力を身につける。				
到達目標	自分自身を理解し、自己分析ができる。 身につけた表現力を活かし、人前で堂々と話すことができる。				
評価基準	発表：60％ 小テスト：20％ 提出物：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	アビリティ UPⅠ・アビリティ UpⅡ・ビジネスマナーⅠ・ビジネスマナーⅡ・就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石田 千妃路		実務経験	○	
実務内容	病院（900 床以上）福祉系部署にて秘書的業務兼一般事務業務。クリニックにて医療事務業務として勤務。（計 3 年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 実習・就職指導①	授業の概要について 業界研究、グループディスカッションについて実践①
2	実習・就職指導②	業界研究、グループディスカッションについて実践②
3	実習・就職指導③	業界研究、グループディスカッションについて実践③
4	実習・就職指導④	業界研究、グループディスカッションについて実践④
5	実習・就職指導⑤	業界研究、グループディスカッションについて実践⑤

6	自分自身を知る①	ジョハリの窓について 自己 PR 文作成について
7	自分自身を知る②	自己 PR 発表
8	自己分析①	自己分析の理解
9	自己分析②	自己分析づくり
10	模擬面接	模擬面接
11	実習・就職指導⑥	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践①
12	実習・就職指導⑦	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践②
13	実習・就職指導⑧	業界研究・模擬面接・グループディスカッションについて実践③
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム I		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	7つの習慣 J テキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・ 7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・ 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	武山 理佳 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKO ワークコンピテンス	SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ

6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム II		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム II		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	武山 理佳 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る

6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	TAKEOFF/ジョブカード		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職活動の準備や働くことに対しての意識を醸成する				
	現場をイメージできる実習への準備をする				
到達目標	実習をやり多いものにするための準備ができる				
	実習後の課題を発見し、今後の課題や授業への取り組み方を深めていく				
	すぐに就職活動が出来る状態(身だしなみ・履歴書・面接・意欲等)になっている				
評価基準	授業態度・履歴書の完成度・模擬面接の点数・レポートの作成 等				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医事業務実践ベーシック AⅡ・医事業務実践ベーシック BⅡ・医事業務実践ベーシック C・プレゼンテーション実践Ⅱ・医療機関実習Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤田 藍丸 他 2 名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	就職対策の授業の位置付け説明
2	医療機関実習 I にむけて	実習への心構えと準備 基礎的知識の確認
3	実習振り返り ①	実習で学んだこと、今後の就職活動で必要なこと、自身に足りないことの確認
4	実習振り返り ②	実習の振り返り 次年度の実習先・就職希望先の検討
5	医療機関実習 II にむけて ①	医療機関実習 II の目的理解

6	医療機関実習Ⅱにむけて ②	実習先選定の共有・実習先希望調査についての準備
7	就職活動の流れ ①	就職活動の基本的な流れを理解する
8	就職活動の流れ ②	就職活動のルール（学校求人・個人活動・併願受験等）を理解する
9	自己分析	自分史を作成する
10	履歴書・ジョブカード作成 ①	履歴書・ジョブカードの作成について
11	履歴書・ジョブカード作成 ②	履歴書・ジョブカードの添削・再作成について
12	身だしなみについて	実習・就職における身だしなみの確認
13	面接練習 ①	面接試験に向けての対策 面接の仕方・準備の理解
14	面接練習 ②	面接試験に向けての対策 面接の仕方の実践
15	まとめ	振り返り・進級後の目標設定

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎看護学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科		3 45
使用教材	①看護学入門 1 人体のしくみと働き ②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ③パッとひける医学略語・看護略語 ④医療秘書技能検定実問題集 3 級① ⑤医療秘書技能検定実問題集 3 級②			出版社	①メヂカルフレンド社 ②建帛社 ③照林社 ④⑤つちや書店
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。				
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ・解剖生理学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沼田 千晶他 1 名		実務経験	○	
実務内容	外来・外科病棟に 6 年、看護師として従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第 1 章 総論	学習のねらい、到達目標、評価基準、医療秘書技能検定などの説明 解剖学・生理学概要、人体各部の名称、位置や方向を示す用語について
2	第 2 章 人体の構成 第 3 章 人体の器官系	人体を構成する細胞・組織・器官・器官系について
3	第 4 章 運動器系①	骨の形状や構造について
4	第 4 章 運動器系②	筋肉の解剖と生理について

5	第 5 章 体液	血液成分、性状、血液凝固、血液型、組織液、リンパについて
6	第 6 章 循環器系①	心臓の構造、機能について
7	第 6 章 循環器系②	血管、リンパ管およびリンパ節の構造について
8	第 6 章 循環器系③	血液循環について
9	第 7 章 呼吸器系	呼吸器系の構造、機能について
10	第 8 章 消化器系①	各消化器官の位置や構造、機能について①
11	第 8 章 消化器系②	各消化器官の位置や構造、機能について②
12	第 8 章 消化器系③	消化・吸収のメカニズム、エネルギー代謝について
13	第 10 章 泌尿器系	腎臓、尿路の構造と機能、尿生成と排尿のメカニズムについて
14	第 12 章 内分泌系	内分泌腺の構造と機能、ホルモン作用について
15	総まとめ、テスト	テスト実施と総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	基礎看護学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	基礎看護学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	①看護学入門 1 人体のしくみと働き ②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ③パッとひける医学略語・看護略語 ④医療秘書技能検定実問題集 3 級① ⑤医療秘書技能検定実問題集 3 級②			出版社	①メヂカルフレンド社 ②建帛社 ③照林社 ④⑤つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	医学の基本である解剖学・生理学の基礎知識を理解する。		
到達目標	医療機関で活かせる医学の基礎知識を理解し、必要に応じて説明できる。		
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	医療秘書技能検定		
関連科目	基礎看護学Ⅰ・疾患学Ⅰ・解剖生理学		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	沼田 千晶他 1 名	実務経験	○
実務内容	外来・外科病棟に 6 年、看護師として従事。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 13 章 神経系①	医療秘書技能検定概要、学習評価基準などの説明 神経系の構造と機能について
2	第 14 章 感覚器系①	感覚器の構造、機能について
3	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
4	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について

5	検定対策	過去問題の実施、検定問題の傾向と対策について
6	検定振り返り	実施された検定の振り返り、今後の授業展開を説明
7	第 9 章 体温	体温の定義、体温調節のメカニズムについて
8	第 11 章 生殖器系	男性・女性生殖器の構造、生殖の生理について
9	第 7 章 呼吸器系	呼吸器系の構造と機能の復習
10	第 6 章 循環器系	循環器系の構造と機能の復習
11	第 8 章 消化器系	消化器系の構造と機能の復習
12	第 5 章 体液	血液成分、血液凝固の復習
13	まとめ	これまでの復習
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返り、総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	疾患学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	疾患学 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	①新医療秘書医学シリーズ③ 臨床医学Ⅰ内科 ②新医療秘書医学シリーズ④ 臨床医学Ⅱ外科 ③新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学			出版社	建帛社

科目の基礎情報②

授業のねらい	学んだ人体のしくみを基礎に、疾病の成り立ちや診断（検査）、治療法を内科・外科の両面より習得する。		
到達目標	現場でよく使われている医療用語を説明することが出来る。		
評価基準	小テスト：40％ テスト：40％ 授業態度：20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	医療秘書技能検定		
関連科目	解剖生理学・基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・医事業務実践ベーシック B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	井瀬 桂子他 1 名	実務経験	○
実務内容	北海道内の病院の手術室、透析室、整形外科外来に従事する		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに 1. 内科・外科とは	学習の目的・目標・進め方の説明 内科的治療（p1）と外科で扱う疾病（p2）の特徴について
2	検定対策	医療秘書技能検定に向けての対策
3	同上	同上
4	同上	同上
5	同上	同上

6	2. 呼吸器疾患	主な疾患：呼吸器感染症、インフルエンザ、肺炎、結核など
7	同上	同上
8	3. 循環器疾患	主な疾患：高血圧症、虚血性心疾患 - 狭心症、心筋梗塞
9	同上	同上
10	4. 消化器疾患	主な疾患：口腔疾患、食道疾患、逆流性食道炎、食道静脈瘤、食道癌
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	テスト	まとめテスト
15	まとめ 5. 血液疾患	テスト返却と振り返り！ 主な疾患：貧血、白血病、血液凝固異常

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	社会保険概論 I		
必修選択	選択	(学則表記)	社会保険概論 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	①医療事務テキスト I ②診療点数早見表 ③医療概論④医療秘書検定問題集 3 級①② ⑤検定過去問題集⑥窓口事務必携ハンドブック			出版社	①⑤ユアサポート②⑥医学通信社 ③建帛社④つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	病院実習に役立ち、就職後には即戦力となる医療事務の知識の習得をする				
到達目標	医療事務員として必要な法律や公費の知識を説明することができる 医療事務検定 1 級、医療秘書検定 3 級（以下 MS 検定と表記する）に合格することができる				
評価基準	評価テスト 50% 授業態度 30% 小テスト 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級・医療秘書検定 3 級				
関連科目	医科医療事務 A I、A II・B I、B II 医事業務実践ベーシック A I、A II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務）/ 調剤薬局（受付・会計・請求事務）/ 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医療秘書概論とは	MS 検定に向けて 医療保険の概要
2	健康保険法	医療保険の概要 医療の仕組み、医療保険の種類、給付割合と患者負担割合
3	健康保険法	医療保険の給付 健康保険法の目的、医保の給付、保険診療の範囲、保険外併用療養費
4	健康保険法	医療保険の給付 高額療養費、その他の現金給付

5	医学と医療	医学と医療の歴史の違い、医療秘書が把握すべきもの
6	医療の実際	病気の定義と分類・病気の原因・診断・治療、プライマリケア・DPC による疾病分類法
7	医療法・医師法	医療法と医療提供施設、医療提供施設の適宜と分類
8	病院管理	医療情報の提供
9	病院管理	病院・診療所の開設、管理等
10	医療関係者と法律	医師・歯科医師
11	医療関係者と法律	その他の医療関係者
12	労災・自賠	制度の目的・しくみ給付内容等
13	関連法規	療養担当規則
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	これまでのまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	社会保険概論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	社会保険概論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	①医療事務テキストⅠ②診療点数早見表 ③医療概論④医療秘書検定問題集 3 級①② ⑤検定過去問題集⑥窓口事務必携ハンドブック			出版社	①⑤ユアサポート②⑥医学通信社 ③建帛社④つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	病院実習に役立ち、就職後には即戦力となる医療事務の知識の習得をする				
到達目標	医療事務員として必要な法律や公費の知識を説明することができる 医療事務検定 1 級、医療秘書検定 3 級（以下 MS 検定と表記する）に合格することができる				
評価基準	評価テスト 50% 授業態度 30% 小テスト 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級・医療秘書検定 3 級				
関連科目	医科医療事務 AⅠⅡ・BⅠⅡ 医事業務実践ベーシック AⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務） 調剤薬局（受付・会計・請求事務） 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医療秘書の現状・役割	前期復習 医療秘書の現状と将来・役割と業務
2	医療秘書の実務	医療機関が求める人材、守秘義務、人間関係とコミュニケーション、各部門業務
3	実習前対策	医療秘書実務・医療と ICT
4	MS 検定 3 級対策	MS 検定問題集①、②

5	MS 検定 3 級対策	同上
6	MS 検定 3 級対策	同上
7	公費負担医療	公費負担医療の概要 生保・原爆・感染症（結核）・児童福祉・難病・精神・各自治体の公費
8	公費負担医療	同上
9	公費負担医療	同上
10	医事検 1 級対策	医療事務検定過去問題集
11	医事検 1 級対策	同上
12	死と医療	医療関連法規をめぐる諸課題
13	現代医療の課題	ターミナルケア、末期患者の問題とニーズ、緩和ケアと尊厳死
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	これまでのまとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	解剖生理学		
必修選択	選択	(学則表記)	解剖生理学		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	30
使用教材	①看護学入門 1 人体のしくみと働き ②新医療秘書医学シリーズ⑦ 医療用語 ③パッとひける医学略語・看護略語 ④医療秘書技能検定実問題集 3 級① ⑤医療秘書技能検定実問題集 3 級②			出版社	①メヂカルフレンド社 ②建帛社 ③照林社 ④⑤つちや書店
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人体の構造や機能に関して、医学知識を習得する				
到達目標	基礎医学を理解し、必要に応じ説明することができる				
評価基準	小テスト：40% テスト：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療秘書技能検定				
関連科目	基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沼田 千晶他 1 名			実務経験	○
実務内容	外来・外科病棟に 6 年、看護師として従事。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・総論	学習のねらい、評価基準、授業の進め方を説明する。 身体の方 向・面・区分の表現、人体の構成要素について
2	神経系・感覚器	神経系・感覚器について
3	循環器系	心臓について

4	循環器系	心臓について
5	血液	血液について
6	テスト	テストの実施
7	運動器系	骨格系・運動を行う筋系について
8	腎・泌尿器系	腎・泌尿器系について
9	内分泌系	内分泌系について
10	呼吸器系	呼吸器系について
11	消化器系	消化器系について
12	消化器系	消化器系について
13	生殖器系	生殖器系について
14	テスト	テストの実施
15	まとめ	総まとめと復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医事 C P ・電子カルテ基礎		
必修選択	選択	(学則表記)	医事 C P ・電子カルテ基礎		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	コンピュータ入力練習用「カルテ例題集」 診療点数早見表、早見表、医療事務テキストⅡ			出版社	ケアアンドコミュニケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療事務コンピュータの役割と活用性を理解し、医療事務で学んだ診療報酬算定の知識を基に医事コンピュータを用いて正確な算定を行う。 電子カルテの入力基礎を習得する。				
到達目標	医療事務コンピュータの役割と必要性を説明できるようになる。 コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。 電子カルテの基礎的な入力ができるようになる。				
評価基準	テスト 70% 小テスト・提出物 20% 授業態度 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験 3 級、医事コンピュータ技能検定試験 2 級、電子カルテ検定				
関連科目	医科医療事務 AⅠ・医科医療事務 AⅡ・医科医療事務 BⅠ・医科医療事務 BⅡ・ 医事 CP・電子カルテ応用Ⅰ・医事 CP・電子カルテ応用Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	中谷 多江 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	診療所・病院（外来事務・入院事務）/ 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・医事 C P の授業目的・概要説明 ・ C P 基本操作（患者登録まで）	・医療機関における医事 C P の役割と活用性 ・システムの起動・終了操作、U S B の取り扱い
2	外来患者入力①	病名・診察料・医学管理・投薬・do の入力
3	外来患者入力②	注射・処置・麻酔・手術の入力
4	外来患者入力③	検査・病理・画像診断の入力

5	外来患者入力④	複初・複再、処方箋、画像連続・特殊撮影の入力
6	外来患者入力⑤	伝票形式の入力演習①（検定対策）
7	外来患者入力⑥	外来患者入力のまとめ
8	外来患者入力⑦／テスト	外来患者入力のまとめ／テスト
9	入院患者入力①	・ 外来と入院の相違 ・ 食事・入院料の入力
10	入院患者入力②	入院患者入力演習①
11	入院患者入力③	入院患者入力演習②
12	C P 関連	・ C P 内の内部処理 ・ C P の五大装置と機能 ・ 周辺装置の種類と特徴 ・ インターフェースの種類と特徴 ・ ソフトウェアの種類と特徴 ・ オペレーティングシステムの種類と特徴 ・ アプリケーションソフトの基本操作
13	小テスト・まとめ	CP 関連小テスト・入院小テスト・総まとめ
14	電子カルテ①	・ 電子カルテの基本操作 ・ オーダリングシステムの役割 ・ S O A P の意味 ・ 問診表の入力
15	電子カルテ②	・ カルテ入力（症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等）

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシック AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	医事業務実践ベーシック AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	①新版 医療の接遇		出版社	①医療タイムズ社	
	②窓口事務必携ハンドブック ③医療事務テキストⅠ			②医学通信社 ③ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける				
到達目標	診療所、病院での受付のポイントを述べることができる				
	ケースワークや様々なシミュレーションを通じて、自分なりに表現することができる				
評価基準	発表・実践：40%、期末テスト：30%、授業態度：20%、小テスト：10%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者				
	成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務 AⅠⅡ・医科医療事務 BⅠⅡ・社会保険概論ⅠⅡ・ビジネスマナーⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐藤 さおり / 橋本 菜名 / 小畑 綾子 / 齊藤 莉里果		実務経験	○	
実務内容	一般企業（コンピューター会社 2 年、専門商社 4 年）にて来客対応、コンピューターデータ入力、 コンピューター事務 6 年 / 病院（受付・会計・請求事務）/ 病院（医師事務作業補助者）/ 診療所（外来事務・看護助手）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・ベーシックAⅠについて
2	医療機関ってどんなところ？ 各種医療保険について	・医療機関について ・各種医療保険について
3	受付対応① 【基本】	・病院・診療所での受付の違い ・各種医療保険について
4	受付対応② 【基本】	・初診受付について マイナ保険証の取り扱い・資格確認書のお預かり 問診票の記入 診察券の発行
5	受付対応③ 【基本】	・再診受付について マイナ保険証の取り扱い・資格確認書・診察券のお預かり・お返しまで

6	受付対応 実践練習	・初診・再診の受付シミュレーション マイナ保険証の取り扱い、問診票の記入依頼まで
7	受付シミュレーション	・受付シミュレーション実践 テスト
8	受付対応① 【応用】	・初診時におこりやすいトラブルについて
9	受付対応② 【応用】	・再診時におこりやすいトラブルについて
10	受付対応③ 【応用】	・クレーム対応について 待ち時間など
11	受付対応 【接遇マナー】	・医療人としての接遇
12	受付シミュレーション	・シミュレーション実践 テスト
13	受付シミュレーション	・シミュレーション実践 テスト
14	期末まとめ	・前期評価ペーパーテスト
15	前期振り返りと総まとめ	・シミュレーション実践の振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシック AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	医事業務実践ベーシック AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	①新版 医療の接遇		出版社	①医療タイムズ社	
	②窓口事務必携ハンドブック ③医療事務テキストⅠ			②医学通信社 ③ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践できるスキルを身につける				
到達目標	診療所、病院での受付のポイントを述べることができる ケースワークや様々なシミュレーションを通じて、自分なりに表現することができる 社会人としての基本マナーを身につける				
評価基準	発表・実践：40%、期末テスト：30%、授業態度：20%、小テスト：10%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務 AⅠⅡ・医科医療事務 BⅠⅡ・社会保険概論ⅠⅡ・ビジネスマナーⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐藤 さおり / 橋本 菜名 / 小畑 綾子 / 齊藤 莉里果		実務経験	○	
実務内容	一般企業（コンピューター会社 2 年、専門商社 4 年）にて来客対応、コンピューターデータ入力、 コンピューター事務 6 年 / 病院（受付・会計・請求事務）/ 病院（医師事務作業補助者）/ 診療所（外来事務・看護助手）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	後期の目標 受付対応① 【医療費助成制度】	・前期復習 ・「乳児医療証」「子ども医療証」「ひとり親医療証」について
2	会計対応① 【金銭授受】	・金銭授受について ・患者様の呼び出し
3	実習に向けて	・病院実習に向けて ・社会人としてのマナー
4	実習の振り返り	・実習での振り返りワーク

5	受付対応② 【労災・自賠責】	・労働者災害補償制度 ・自賠責保険制度
6	受付対応シュミレーション	・高齢者・労災・自賠責 シミュレーション実践
7	会計対応② 【各種書類】	・診断書・証明証・紹介状の会計について
8	会計対応③ 【領収書・明細書】	・時間外診療 ・電話再診について
9	会計対応シュミュレーション練習	・会計シュミュレーション実践準備
10	会計シュミュレーションまとめ	・会計シュミュレーション実践
11	期末まとめ	・後期評価ペーパーテスト
12	シュミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシュミュレーション実践
13	シュミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシュミュレーション実践
14	シュミュレーション大会実践準備	・各テーマを決め、グループに分かれてシュミュレーション実践
15	後期の振り返りと総まとめ	後期のまとめと1年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医事業務実践ベーシックB（医学的内容）		
必修選択	選択	（学則表記）	医事業務実践ベーシックB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	①新医療秘書医学シリーズ③ 臨床医学Ⅰ内科 ②新医療秘書医学シリーズ④ 臨床医学Ⅱ外科 ③新医療秘書医学シリーズ⑤ 検査・薬理学			出版社	建帛社

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療現場で求められている窓口対応を実践するための医学的知識とスキルを身につける				
到達目標	医療現場での対応例を習得し、疾患学と診療報酬を結びつけて説明する事が出来る				
評価基準	実践：40%、期末テスト：30%、授業態度：20%、小テスト：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	解剖生理学・基礎看護学Ⅰ・基礎看護学Ⅱ・疾患学Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井瀬 桂子他1名			実務経験	○
実務内容	北海道内の病院の手術室、透析室、整形外科外来に従事する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	はじめに 感染症の理解	授業の目的・目標・進め方の説明 各種ウイルスの感染経路、スタンダードプリコーションについて
2	感染症対策① （空気、飛沫感染）	手指消毒、マスクの正しいつけ方について
3	感染症対策② （飛沫、接触、血液媒介感染）	感染経路別予防策について 手袋、防護具の装着法、リネンの取り扱いについて
4	感染症対策③	医療器具の洗浄、滅菌について
5	感染症に対する対応実践	感染疑いのある患者来院時の対応実践を行う 感染疑いのある患者来院時の事前準備、到着後対応について

6	小テスト（感染症対策）	感染対策が円滑にできるか確認テストを行う
7	車いす、つえ使用実践	車いすの出し方、移動方法、たたみ方について 車いすの出し方、移動、たたみ方の実践を行う
8	同上	同上
9	疾患別対応① （高血圧、糖尿病、心疾患）	高血圧、糖尿病患者の症状、対応策について 心疾患患者の症状、対応策について 胸痛の種類について
10	同上	同上
11	疾患別対応②（消化器疾患） シミュレーション実践準備	消化器疾患の受診に適した診療科案内について 指定難病（潰瘍性大腸炎、クローン病）の症状、対応策（検査、投薬、食事）症状悪化時の対応、 内視鏡検査の注意点、人工肛門の説明、来院時に必要なものについて
12	同上	同上
13	同上	胃、十二指腸疾患患者の症状（検査、投薬、食事）について ヘリコバクターピロリ検査について
14	期末テスト	疾患毎の対応策が理解できているかテストを行う
15	総復習	これまでの内容を復習する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	対人関係論 I		
必修選択	選択	(学則表記)	対人関係論 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	史上最強よくわかる社会心理学		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	“人間”という動物の社会性について理解を深め、より良い対人関係を作るための基礎知識を身に着ける ・三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」の”心”の部分の理解を深め、人との関わりの中で心がどのような状態であると良いかを理解する		
到達目標	医療従事者として社会・集団に適応する基礎力を備える 集団適応しやすい「自分の在り方」を理解する		
評価基準	小テスト：30%、テスト：40%、授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	村岡 香織	実務経験	○
実務内容	大手スポーツクラブにてフィットネスインストラクター19 年、ダンス講師 18 年勤務。専門学校の非常勤講師として 16 年勤務。認定心理士、心理士学位、教育カウンセラー。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	自己（自己概念）について	自己概念 様々な“自己”について理解を深め、理想自己についてまなぶ（自己評価・自己呈示について）
3	他者について	“対人認知”について学ぶ 対人関係上生じる力動を知りつつ、他者が自分をどう見ているかを理解する
4	自己評価について理解を深める	下方比較・上方比較・自己呈示の内在化、自己防衛動悸や自己高揚動機など、自己評価に影響を与える心理的な働きを客観的に理解する
5	対人関係の成立について	“好意”について学ぶ（恋愛にも触れる） 好意という心理現象がどういう刺激から生まれているのかを理解する

6	対人関係の崩壊について学ぶ	社会的交換 人間関係に内在する”暗黙のルール”を理解する
7	自己呈示について学ぶ	自分に良い形に印象を操作するため必要な知識を身に着ける
8	学びの振り返り	自分のことを理解して、自分を振り返り、気づいたこととどうありたいか？をまとめる
9	集団心理について	敵対意識や帰属意識を理論的に理解する
10	集団の心理機能について理解する ①	集団の斉一性や、同調行動、権威者の圧力など、集団に属したときに人に働く心理機能を理解する
11	集団の心理機能について理解する ②	集団の斉一性や、同調行動、権威者の圧力など、集団に属したときに人に働く心理機能を理解する
12	【ワーク】 集団の中でどう対応するか？	事例提供して、これまで学んだことを活かして”適応的”に対応する方法をグループセッションする
13	【ワーク】 集団の中でどう対応するか？	事例提供して、これまで学んだことを活かして”適応的”に対応する方法をグループセッションする
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	対人関係論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	対人関係論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	史上最強よくわかる社会心理学		出版社	ナツメ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・"人間"という動物の社会性について理解を深め、より良い対人関係を作るための実践的な知識を身に着ける ・三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」の"心"の部分の理解を深め、人との関わりの中で自分でメンタルコントロールする方法を身に着ける		
到達目標	医療従事者として働くときの社会・集団に適応する基礎力・応用力を備える 対人関係の中でより良く機能するために、対人スキルを高めメンタルセルフコントロールができるようになる		
評価基準	小テスト：30%、テスト：40%、授業態度：30%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	村岡 香織	実務経験	○
実務内容	大手スポーツクラブにてフィットネスインストラクター19 年、ダンス講師 18 年勤務。専門学校の非常勤講師として 16 年勤務。認定心理士、心理士学位、教育カウンセラー。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	“ストレス”について理解する①	ストレスとはどういうものなのかを理解する（ストレッサー ストレスについて理論的に理解する）
3	“ストレス”について理解する②	ストレス対処で一般的に効果的とされている情報を提供（セルフストレスマネジメント）
4	【ワーク】”ストレス”対処	ハッピーリストの作成（不安が高まったりイライラしたときの対処を学ぶ）
5	メディアや文化が私たちに与える影響①	消費行動や段階的要請法について学ぶ（日常生活場面で知らず知らずにさらされている効果を理解する）

6	メディアや文化が私たちに与える影響②	メディアが与える影響について（攻撃行動について）
7	メディアや文化が私たちに与える影響③	「日本」文化の特性を理解して、その中で適応しやすい方法を学ぶ
8	学びの振り返り	自分のことを理解して、自分を振り返り、気づいたこととどうありたいか？をまとめる
9	現代社会が与える心の負担を理解する	社会が進化するほどストレスが増す構造を客観的に理解する
10	“孤独”とネット	社会的補償仮説など、孤独感や疎外感をうまく対処する方法を学ぶ
11	幸福と心の健康について①	人間が“幸せ”を感じる 10 の要素を理解する（諸外国と日本の差についても理解を深める）
12	幸福と心の健康について②	被災とストレスの関係性について学ぶ
13	幸福と心の健康について③	安定した 2 者関係（パートナーとの関係性）が与える心理的効果について理解を深める
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	調剤薬局事務		
必修選択	必修	(学則表記)	調剤薬局事務		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	60
使用教材	調剤事務講座 テキスト一式			出版社	日本医療事務協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割と主な調剤報酬算定業務の深い知識を習得する 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、調剤報酬算定以外にも対応できる知識を身につける				
到達目標	医療機関と保険薬局との関係性を知り、保険薬局における調剤事務員の役割を述べることができる 医療保険、保険調剤の仕組みを理解し、ポイントを述べるができる 調剤薬局事務検定に合格することができる				
評価基準	評価テスト 50% 小テスト 20% 提出物/授業態度 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	調剤薬局事務検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	一玖 幸代 / 柴田 美佐 / 齊藤 莉里果			実務経験	○
実務内容	調剤薬局（受付・会計・請求事務） / 診療所・病院（受付・会計・請求事務） / 診療所（外来事務・看護助手）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	保険調剤	第 1 章 薬局と薬の基礎知識 第 2 章 医療保険制度の概要
2	保険調剤 調剤報酬の算定	第 3 章 保険調剤の実務について 処方箋の見方、調剤報酬点数表の構成、
3	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	第 4 章 調剤報酬－薬剤料 算定の原則、薬価計算（五捨五超入）
4	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	レセプトの記載方法（上書き）、調剤基本料、薬学管理料の算定とレセプトの作成 調剤料（内服薬・屯服薬）、時間外加算、計量混合調剤加算 ※処方箋問題集 No.1～4
5	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	一般名処方、調剤料（外用薬）、乳幼児 ※処方箋問題集 No.5.6.7

6	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	麻薬処方（麻薬加算、麻薬処方箋の取り扱い）、予製剤、自家製剤加算、夜間・休日等加算 ※処方箋問題集 No.8.9
7	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	乳幼児、休日加算、漢方（浸煎薬・湯薬） ※処方箋問題集 No.10.11.12
8	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	内服用滴剤、かかりつけ薬剤師指導料 ※処方箋問題集 No.13.14
9	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	漸減療法 ※処方箋問題集 No.15.16.17
10	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	様々な症例について演習 ※処方箋問題集 No.18.19
11	調剤報酬の算定 レセプトの記載方法	様々な症例について演習 ※処方箋問題集 No.20.21.22
12	評価テスト	まとめテスト実施 学科試験対策
13	調剤薬局事務検定対策	調剤薬局事務検定に向けての検定対策 ※処方箋問題集 No.23.24.25
14	医療保険制度	公費・総括
15	まとめ	前期のまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務 A I		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務 A I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	60
使用教材	①診療報酬点数早見表②カルテ問題集③薬価・薬効表④早見表 ⑤医療事務テキストⅠ・Ⅱ⑥検定過去問題集 ⑦医療秘書技能検定問題集 3 級②			出版社	①医学通信社②～⑤ユアサポート ⑥全国医療事務教育協議会⑦つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する				
到達目標	点数表を読みこみ、医科・調剤のレセプトのポイントを述べることができる 医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級が合格できる				
評価基準	評価テスト 60%、提出物 20%、授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級（第 3 領域）				
関連科目	医科医療事務 A II B I II、社会保険概論 I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務）/ 調剤薬局（受付・会計・請求事務） 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医療事務とは	オリエンテーション（目的、授業内容、検定について） 医療保険の種類、医療機関の種類、カルテの上書きについて
2	初診料、再診料	初診料、初診料加算 再診料 再診料加算 外来診療料 外来診療料加算について
3	医学管理	特、薬情、情、乳栄、喘息、外栄、皮膚、耳鼻、ウについて
4	医学管理、在宅医療	医学管理の続き 在宅医療 往診料について

5	投薬	薬剤の種類、薬剤料の計算方法（内服薬、頓服薬、外用薬）について
6	投薬	調剤料、処方料、調剤基本料、処方箋料について
7	注射	薬剤料、手技料 IM、IV、点滴、その他の注射、注射手技料の加算について
8	処置	通則（簡単な処置、対称器官、時間外加算） 点数表、テキストに沿って主な処置の説明について
9	手術	通則（対称器官、同一手術野、年齢加算、時間外加算） 点数表、テキストに沿って主な手術の説明について
10	麻酔、リハビリ	麻酔・神経ブロック：通則（前処置、年齢加算、時間外加算）点数表、テキストに沿って主な麻酔（閉麻を除く）について リハビリ：通則、疾患別リハビリテーション 精神科専門療法、放射線治療について
11	評価テスト	評価テストの実施
12	検査	検体検査料：判断料、緊検、外迅検、尿検査～微生物学的検査
13	検査、病理判断	生体検査料：判断料、年齢加算、対称器官、心機能学的検査～について 病理診断料：診断料、判断料、病理学的検査～について
14	画像診断	緊画、画像診断管理加算 エックス線診断料、コンピュータ断層診断料、判断料について
15	前期のまとめ	外来の範囲の総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務 B I		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務 B I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	①診療報酬点数早見表②カルテ問題集③薬価表④早見表 ⑤医療事務テキストⅠ・Ⅱ⑥検定過去問題集 ⑦医療秘書技能検定問題集 3 級②			出版社	①医学通信社②～⑤ユアサポート ⑥全国医療事務教育協議会⑦つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	点数表を読み込み理解し、入院・外来レセプトを作成することができる 医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級が合格できる				
評価基準	前期：単元ごとの小テスト 30%、評価テスト 40%、提出物・授業態度 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級（第 3 領域）				
関連科目	医科医療事務 AⅠⅡ、BⅡ 社会保険概論Ⅰ、Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務）/ 調剤薬局（受付・会計・請求事務）/ 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	レセプトの上書き	カルテ問題集 No1～10 について実践
2	初診・再診料の算定	カルテ問題集 No1～6 について実践
3	医学管理	カルテ問題集 No1～6 について実践
4	医学管理 在宅医療	カルテ問題集 No7～10、4 について実践

5	投薬	カルテ問題集 No1～10 について実践
6	投薬	同上
7	注射	カルテ問題集 No5～8 について実践
8	処置	カルテ問題集 No7～10、4 について実践
9	手術	カルテ問題集 No10～12 について実践
10	麻酔 リハビリ	カルテ問題集 No10～13 について実践 No10 までを仕上げる
11	検査	カルテ問題集 No11～15 について実践 No11 を仕上げる
12	検査	カルテ問題集 No12～15 No13 までを仕上げる
13	画像診断	カルテ問題集 No14～25 までを仕上げる
14	テスト	テストを実施する
15	前期のまとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務 A II		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務 A II		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	60
使用教材	①診療報酬点数早見表②カルテ問題集③薬価・薬効表④早見表 ⑤医療事務テキストⅠ・Ⅱ⑥検定過去問題集 ⑦医療秘書技能検定問題集 3 級②			出版社	①医学通信社②～⑤ユアサポート ⑥全国医療事務教育協議会⑦つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	点数表を読み内容が理解でき、様々な算定に対応できる力を習得する				
到達目標	点数表を読みこみ、医科のレセプトのポイントを述べることができる 医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級が合格できる				
評価基準	評価テスト 60%、提出物 20%、授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級（第 3 領域）				
関連科目	医科医療事務 A I B I II、社会保険概論 I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務）/ 調剤薬局（受付・会計・請求事務） 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	復習：検定過去問題集から 2 級問題を実施
2	外来まとめ 在宅医療、医学管理	在宅医療：在宅自己注射指導管理料、訪問診療、訪問看護について 医学管理：薬、悪、てんかん、疼痛などについて 前期まとめ
3	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた対策

4	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた対策
5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた対策
6	入院と外来の違い	調剤料、IM・IV、点滴、処置、検査について
7	入院に関わるその他のもの	医学管理：薬管、手前、手後、肺予 輸血、麻酔（閉鎖循環式全身麻酔）について
8	入院基本料 入院基本料等加算	一般病棟入院基本料、有床診療所入院基本料 入院基本料等加算について
9	入院時食事療養費	入院基本料等加算つづき 入院時食事療養費について
10	医療事務検定 1 級対策	医療事務検定 1 級に向けた対策
11	医療事務検定 1 級対策	医療事務検定 1 級に向けた対策
12	評価テスト	まとめテスト
13	医療事務検定 1 級対策	医療事務検定 1 級に向けた対策
14	医療事務検定 1 級対策	医療事務検定 1 級に向けた対策
15	1 年間の総まとめ	テストの振り返りと総まとめ 総括

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務 B II		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務 B II		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	2	60
使用教材	①診療報酬点数早見表②カルテ問題集③薬価・薬効表④早見表 ⑤医療事務テキストⅠ・Ⅱ⑥検定過去問題集 ⑦医療秘書技能検定問題集 3 級②			出版社	①医学通信社②～⑤ユアサポート ⑥全国医療事務教育協議会⑦つちや書店

科目の基礎情報②

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	点数表を読み込み理解し、入院・外来レセプトを作成することができる 医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級が合格できる 調剤報酬のレセプトを作成することができる				
評価基準	後期：単元ごと的小テスト 20%、評価テスト 50%、提出物・授業態度 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	医療事務検定 1 級、医療秘書技能検定 3 級（第 3 領域）				
関連科目	医科医療事務 AⅠⅡ、BⅠ 社会保険概論Ⅰ、Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務）/ 調剤薬局（受付・会計・請求事務）/ 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	復習：外来レセプト 1 枚作成
2	医学管理 在宅医療	カルテ問題集 No13、20、23 について実践
3	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた検定対策
4	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた検定対策

5	医療秘書技能検定対策	医療秘書技能検定 3 級に向けた検定対策
6	入院と外来の違い	カルテ問題集 No29、30 について実践
7	入院にかかわる その他のもの	カルテ問題集 No31、32 について実践
8	入院基本料	カルテ問題集 No29、30 について実践
9	入院基本料等加算 入院時食事療養費	カルテ問題集 No31、32 について実践
10	医療事務検定 1 級対策	カルテ問題集 医療事務検定 1 級に向けた対策
11	医療事務検定 1 級対策	カルテ問題集 医療事務検定 1 級に向けた対策
12	評価テスト	まとめテスト実施
13	医療事務検定 1 級対策	カルテ問題集 医療事務検定 1 級に向けた対策
14	医療事務検定 1 級対策	カルテ問題集 医療事務検定 1 級に向けた対策
15	1 年間の総まとめ	テストの振り返りと総まとめ 医療事務検定 2 級対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務C		
必修選択	選択	(学則表記)	医科医療事務C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	医療秘書科	1	30
使用教材	レセプト ※問題はオンデマンド上に記載			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	カルテ内容を理解し、正確にレセプト作成ができる力を備える				
到達目標	算定の原則を理解し、外来・入院レセプトを作成することが出来る 医療事務検定2級、1級が合格できる				
評価基準	第1～14回提出物（レセプト）70% 第15回まとめ 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	医療事務検定2級、1級				
関連科目					
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	続 美緒 / 一玖 幸代 / 柴田 美佐			実務経験	○
実務内容	病院（受付・会計・請求事務・病棟事務） / 調剤薬局（受付・会計・請求事務） / 診療所・病院（受付・会計・請求事務）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	模擬問題No.1	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
2	模擬問題No.2	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
3	模擬問題No.3	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
4	模擬問題No.4	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 2級向け_外来カルテ レセプト作成
5	模擬問題No.5	上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1級向け_外来カルテ レセプト作成

6	模擬問題No.6	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_入院カルテ レセプト作成
7	模擬問題No.7	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_外来カルテ レセプト作成
8	模擬問題No.8	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_入院カルテ レセプト作成
9	模擬問題No.9	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_外来カルテ レセプト作成
10	模擬問題No.10	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_入院カルテ レセプト作成
11	模擬問題No.11	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_外来カルテ レセプト作成
12	模擬問題No.12	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_入院カルテ レセプト作成
13	模擬問題No.13	※外来※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_外来カルテ レセプト作成
14	模擬問題No.14	※入院※上書き～各診療日付ごとの算定手順・留意点を解説 1 級向け_入院カルテ レセプト作成
15	総まとめ	外来、入院のまとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	医療機関実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療機関実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	42
使用教材	①新版医療の接遇		出版社	①医療タイムズ社	
	②窓口事務【必携】ハンドブック			②医学通信社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	早期に医療機関の現場を知ること、学内の学習以外にも必要な知識・力があるということを理解する。 自分たちが将来進むべき業界の理解と今後身に受けるべき知識を理解し、今後の学習につなげる。				
到達目標	医療機関での業務の流れの概要をおおまかに知っている状態 2年生の実習・就職に向けて、現状の自分に足りないものを気が付けている状態				
評価基準	①実習先（病院）評価 60％ 評価票 A（15 点） B（10 点） C（5 点） D（0 点） ②学校側評価 40％ （振り返りレポート 25％ 実習手帳 15％）				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医事業務実践ベーシック AⅠ・AⅡ・BⅠ・BⅡ・C				
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する。				
担当教員	藤田 藍丸 他 2 名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アビリティ UP I		
必修選択	選択	(学則表記)	アビリティ UP I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	①入学前教育プログラム 学ぶ力の基礎コース総合テキスト		出版社	①進研アド	
	②基礎から学べる！文章カステップ文章検 4 級対応			②日本漢字能力検定協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	社会人として必要な一般常識を身に付ける。 文章を「書く力・読み取る力」を養う。				
到達目標	使用教材にある演習問題を理解し、解答ができる。 作文、自己紹介文を書く準備が整う。				
評価基準	学期末テスト：70% 提出物：30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務 A I ・医科医療事務 B I ・ビジネスマナー I ・プレゼンテーション実践 I				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎 絵里子		実務経験	○	
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入	授業の目的、進め方／教材の使用方法について
2	計算①	仕事にまつわる計算（％、平均など）（教材① p 32～）
3	計算②	およその数（教材① p 36～）／四捨五入、「以上」「未満」など
4	計算③	割合（教材① p 38～）／電卓の機能
5	計算④	単位（教材① p 34～）／単位の換算

6	日本語①	読む力、助詞、正しい語句の選択（教材① p 2～）
7	日本語②	慣用句、敬語（教材① p 6～）
8	日本語③	正しい文の選択、簡単な文章の作成（教材① p 10～）
9	文章作成①	語句の正しい使用方法、文法（教材② p 10～）
10	文章作成②	資料から情報を読み取る（教材② p 18～）
11	文章作成③	指示語、接続語、段落の役割（教材② p 28～）
12	日本語④	熟語、四字熟語、カタカナ語（教材① p 14～）
13	日本語⑤	読む力②（教材① p 16～）／医療事務員として必要な漢字
14	確認テスト	前期分確認テスト（2～13 回の内容）
15	総まとめ	テストの振り返り／総まとめ／社会人として必要な知識

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アビリティ UP II		
必修選択	選択	(学則表記)	アビリティ UP II		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	医療秘書科	1	15
使用教材	①入学前教育プログラム 学ぶ力の基礎コース総合テキスト ②基礎から学べる！文章カステップ文章検 4 級対応		出版社	①進研アド ②日本漢字能力検定協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	社会人として必要な一般常識を身に付ける。 文章を「書く力・読み取る力」を養う。				
到達目標	使用教材にある演習問題を理解し、解答ができる。 作文、自己紹介文を書く準備が整う。				
評価基準	確認テスト：70% 提出物：30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	医科医療事務 A II ・医科医療事務 B II ・ビジネスマナー II ・プレゼンテーション実践 II				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	尾崎 絵里子		実務経験	○	
実務内容	コンピュータ事務、コンピューターデータ入力				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	英語	曜日、月などの基本的な英語表記
2	社会	人の権利、個人情報保護、社会保障（教材① p 70～）
3	道徳	日本の文化（教材① p 64～）
4	計算⑤	データ、グラフの読み取り、平均（教材① p 40～）
5	計算⑥	計算の基本ルール、() のある計算（教材① p 46～）

6	日本語⑥	伝える力、敬語（教材① p 60～）
7	文章作成④	新聞記事を読み取り、伝える
8	文章作成⑤	表現の方法、語尾の使い分け、文章の推敲（教材② p 48～）
9	文章作成⑥	小論文と作文の違い、意見文について（教材② p 54～）
10	文章作成⑦	意見文の作成①（教材② p 58～）
11	文章作成⑧	意見文の作成②（教材② p 64～）
12	文章作成⑨	決められたテーマに沿って小論文を書く
13	グループディスカッション	集団面接とは／就職活動におけるグループディスカッションの位置づけ、テーマ
14	確認テスト	前期・後期分の総合的な確認テスト
15	総まとめ	テストの振り返り／総まとめ／SPI